町内の話題いろいろ

軽井沢らしい色調の外観にマックもリニューアル

彩度を落として落ち着いた色に

「あれ、コンビニ看板が何か違う」旅行者は軽井沢に来ると不思議に思い、「軽井沢だからね」と気づくと大半が納得する。軽井沢自然保護対策要綱や屋外広告物条例、風致地区の決まりによって、軽井沢では外観や看板の色等の規制がある。

コンビニだけではなく、ガソリンスタンドや郵便局、中部電力などの看板の色も変わった。そして、マクドナルドも外観全体が落ち着いた色にリニューアルした。

ここも風致地区

看板を作り替えるためにマクドナルドの担当者が町役場へ相談に訪れ、環境課の担当者が「看板の決まりに合わせてください」と説明した。店舗は国道18号線沿いだが、雲場川第2風致地区に入っていることも分かった。「外観も考慮し彩度4以下に合わせリニューアルしました」とマクドナルドPR部の當山心さんは話す。そこには「地域の人々に愛される店に」という思いがあった。

J

（写真上）以前の建物は黄色いアーチが特徴。アメリカのシカゴ一号店がモデル。（下）リニューアルして落ちついたデザインに。

絵本から再現したドレスなど展示
シンデレラ&プリンセス絵本展

K

軽井沢絵本の森美術館は、プリンセスが登場する様々な年代の絵本を原画や資料で紹介する企画展を開催している。アンティーク絵本などを収集する、グラフィックデザイナーのかわたまさなおさんのシンデレラコレクション約50点を展示。欧州で収集した19～20世紀の絵本をはじめ、100年前の絵本をもとに再現したドレスやガラスの靴も並ぶ。明治時代の作家、坪内逍遥の日本版シンデレラ「おしん物語」は、当時の日本人が理解できるよう、魔法使いは弁天、ガラスの靴は扇、舞踏会は園遊会として描かれている。

かわたさんは「日本ではディズニーが描いたシンデレラのイメージが強いが、他にも様々な画家が何千種類と描いている。他のシンデレラにもぜひ触れてほしい」と説明した。入館料は大人900円。☎0267・48・3340

世界各国、様々な年代のシンデレラの絵本を展示する、かわたまさなおさん。

大槌町から感謝と元気、軽井沢へ
バラエティーショー、大賀ホールで

L

東日本大震災で被災した岩手県大槌町の有志らによる音楽、演劇などのステージ「おおつちバラエティーショー」が3月17日、軽井沢大賀ホールで開かれる。軽井沢町が支援、交流を続ける大槌町から「感謝と元気を伝えたい」と、岩手県外では初めて公演する。ショーは「大槌町のみんなで笑いあいたい」と2016年から、大槌町、盛岡市などで開催。

軽井沢公演には大槌町民ら約30人が出演。町ゆかりのホルン、トランペット奏者、アカペラグループ「ベイビー・ブー」なども登場し、軽井沢中学校吹奏楽部も共演する。大槌町民によるオリジナル演劇は、軽井沢の熱血消防士と、サケの加工場に勤める娘の交際に反対する父が、二人に無理難題を突きつけるラブコメディー。事務局の担当者は「軽井沢、御代田町の皆さんに、感謝を込めて笑いを届けたい」と、大勢の来場を呼びかけている。

3/17（土）14時開演
全席自由2000円～　高校生以下1000円
TEL0193-42-8718（大槌町コミュニティ総合支援室）

シカ、イノシシは過去最高の捕獲頭数
野生動物の対策について報告

軽井沢町は2月8日、野生動物対策の取り組みや成果を伝える報告会を開き、町民ら約30人が参加した。町はツキノワグマをNPO法人ピッキオ、アライグマ、ハクビシンをNPO法人生物多様性研究所あーすわーむ、ニホンジカ、イノシシを軽井沢町猟友会に対策を委託。ニホンザルは町環境課の職員、追い払い専門員が対応にあたっている。

ピッキオによると、2017年度の町内のクマの目撃件数は90件で、碓氷バイパス（20件）、千ヶ滝中・東区（14件）で特に多かった。現在オス6頭、メス15頭に電波発信器をつけて追跡し、6～10月は夜間の追い払いを毎日実施。人家近くにたびたび出没し、追い払いをしても改善がみられなかった2頭は駆除したと報告した。

アライグマは01年以降、町内で61頭を捕獲。近年は目撃情報が減り、15～17年度の捕獲は0。「個体の総数が減ると、目撃情報も減って情報が集まりにくい」とあーすわーむの担当者。さらに、千曲川沿いに分布が広がっている特定外来生物アメリカミンクが近年、軽井沢でも目撃されているとし「イタチに似た黒い動物を水辺でみかけたら連絡してほしい」と情報提供を呼びかけた。

ニホンジカは過去最多だった16年度の451頭を上回る、538頭（17年1月末時点）を既に捕獲。イノシシも142頭と昨年を上回るペースの捕獲数だという。「林道の近くで、くくりワナを設置している場合がある。看板を見かけたら近寄らないで」と注意喚起した。

町内に棲息するニホンザルは現在19頭で、一頭ずつ識別し力のある個体順に番号をつけ管理。千ヶ滝、鶴溜、離山などの別荘地から、小浅間山と留夫山（安中市境）の間に広がる国有林へ行動域を移すため、追い払いを続けている。「誘引物は除去し、畑は電気柵などで囲むなどして、街にサルが来づらい状況をつくって」と呼びかけていた。

毛皮でテン、アメリカミンク、イタチの違いを説明するあーすわーむ担当者ら。

軽井沢を知る　軽井沢新聞社の本

広川小夜子著
1500円（税別）
イラストレーター殺人事件／軽井沢100年記念パーティー／作家の別荘を訪問／軽井沢のテニスブーム／ペテン師たち／浅間山はだいじょうぶ？ 他

取材を通して見えてきた意外な軽井沢
軽井沢取材日記
編集長が慌ただしく取材する様子から、軽井沢の魅力の発見が伝わってくる。取材記者ならではの裏話が見えてくるのも興味深い。

1500円（税別）
「雪の座禅窟」「幻の地底湖」「草軽電鉄の跡を訪ねて」「もうひとつの千ヶ滝」など38編。「軽井沢で一番の秘境」はどこ？

好評につき、増刷しました！
軽井沢秘境探険
軽井沢新聞社の人気ロングセラー。危険を恐れず進むユーモラスな探険隊に注目。

宮原安春著
1500円（税別）
英国公使館別荘／泉源亭／旧ライシャワー別荘／睡鳩荘／旧細川別荘／旧徳川園順別荘 他

知っておきたい「軽井沢の品格」とは
リゾート軽井沢の品格
なぜ信州の寒村が国際的なリゾートとなったのか、軽井沢の原点は何か、「軽井沢物語」（講談社刊）の著者宮原安春がその秘密を解き明かす。

吉村祐美著
1800円（税別）
芥川龍之介、室生犀星、堀辰雄、片山廣子、有島武郎、川端康成、野上彰。

軽井沢を学ぶ
新・軽井沢文学散歩
文学者たちの軽井沢
7人の作家たちの生い立ちや軽井沢での執筆生活、作家同士の交流などを分かりやすく解説。

●お求めは　平安堂 軽井沢店 ☎0267-42-2282／軽井沢新聞社 ☎0267-46-3001／またはウェブで www.karuizawa.co.jp